

## 4. 普及員の農業普及のサービス能力の改善

- ・普及員が各担当エリアに展示圃場をつくり、視察の場を設ける。
- ・普及員が農業に関する技術指導を農家に行く。
- ・普及員の農家へのモニタリング（監視）方法の改善を行う。
- ・丸森で研修を受け、帰国後は農家にトレーニングする。

期待すること：

普及員の能力が向上することは、プロジェクト終了後も引き続き農家への支援が可能になります。

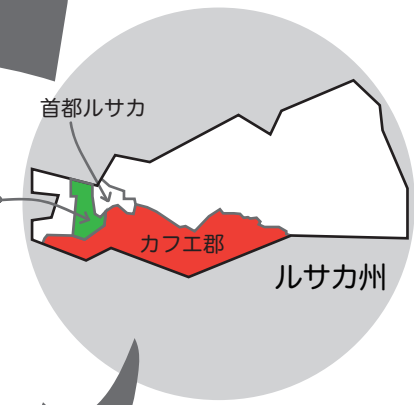
このようにザン丸プロジェクトは持続可能な活動を目指します。

で、プロジェクトってどこでやってんの??

### 対象の村と地域



ザンビアってここ！  
地図見れます



◀カンチュレ村での参加者。



◀ニュートリション村。主食のとうもろこし保管場所。保管方法は人それぞれ違う。



- ①カンチュレ村
- ②モヨ、ゴモラ村
- ③ムエンベシエリア
- ④カチエタ村
- ⑤チパパダムエリア
- ⑥シャチレ、シャレングア村
- ⑦ニュートリション村



## ザン丸プロジェクトの 目標と活動（アウトプット）

今回のプロジェクトは大きくわけて4つの活動（アウトプット）を計画しています。プロジェクト目標を達成するために実施する活動になります。今月はアウトプット4に関してお話しします。

**目標：**  
ザンビアの農家さんが丸森の農業生産技術を習得し、みんなで協力しながら需要に沿った農産物の生産や販売、情報共有したりすることで、地域づくりと生活収入の向上を目指す。



4 普及員の農業普及の  
サービス能力の改善

3 営農活動の記録

2 農産物生産の技術  
(栽培・加工・保存)  
の習得

1 農家が市場ニーズの  
把握をできるように  
なっている

4つのアウトプット（活動）

ザンビア丸森プロジェクトは国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標の中で、1・2・11に該当します。

SDGsって何？  
国連サイトで  
チェック→



前回のプロジェクトの記録はこちら  
ザンビア農村部を現地リポート！  
<http://zam-maru.jugem.jp/>

ザンビア丸森 軌跡

検索

